

## 近江八幡市 市民バス バスロケーションシステム等導入業務委託仕様書

### 1 総則

本仕様書は、近江八幡市 市民バスにおけるバス位置情報等の取得配信に係るデータ等の標準化、共通化を実現するため、近江八幡市が市民バスに対して新たに導入するバス位置情報配信システムの仕様を記述するものである。

### 2 基本方針

本業務の基本方針は以下のとおりとする。

- (1) 動的バス情報（位置情報、接近情報、遅延情報など）を、国土交通省が定める「標準的なバス情報フォーマット」の動的データフォーマット「GTFS リアルタイム」（以下、「GTFS-RT」という。）の形式で取得及び配信する仕組みを整備し、動的バス情報の即時更新に対応する
- (2) 静的バス情報（時刻表情報、路線情報、停留所情報など）は、国土交通省が定める「標準的なバス情報フォーマット」の静的データフォーマット「GTFS-JP」の形式にて整備を行う。
- (3) 動的バス情報（位置情報、接近情報、遅延情報など）を Web 方式でスマートフォンなどの情報機器に表示する。
- (4) システムの運用に当たり、バス運行管理者及びバス乗務員の作業負担を極力小さくする。

### 3 対象路線

対象となる路線は以下のとおりとする。

- ・①島・沖島町コース
- ・②馬淵・新巻町コース
- ・③武佐・末広町コース
- ・④北里・佐波江町・新畑コース
- ・⑤桐原・竹町・東川町コース
- ・⑥桐原・篠原コース
- ・⑧駅南・循環コース
- ・⑨島・岡山・王ノ浜コース
- ・⑩北里・岡山・丸の内町コース
- ・⑪安土北・金田コース
- ・⑫安土南・金田コース
- ・⑬老蘇・金田コース

### 4 業務委託内容

本業務の内容は次のとおりとする。

#### 4-1 バスロケーションシステム構築

##### (1) システム概要

- (ア) 本システムは Web 方式とし、Web ブラウザ以外の環境に依存しないこと
- (イ) Web ブラウザは広く一般的に利用されているものをサポートすること

##### (2) 車両位置測定装置

- (ア) 車両位置測定装置の設置台数は15台とする。

(イ) 車両位置測定装置は GPS により位置情報を取得し、サーバーに送信すること

(ウ) 取得した位置情報の送信頻度は5秒程度、遅くとも10秒以内とすること

(エ) バス乗務員が車両位置測定装置の操作を極力行わない方式であること

(オ) 停留所への到着と出発を別の判定方法とすること

### (3) サーバー

(ア) サーバーは本システム全体を統括するものであること

(イ) サーバーは、受託事業者が用意するサーバー、外部（商用）インターネット・データセンターなど形態は問わず、安定したデータ管理や各種機能の提供を行うことができること

(ウ) バスロケーションシステム利用状況（アクセスログなど）の記録、集計、分析及び照会が可能であること

(エ) システムの利用状況に応じて処理能力の改善及び機能追加等に柔軟に対応ができ、万全なセキュリティ対策が施されていること

### (4) 利用者画面

(ア) 市民バス利用者に対して、パソコン、スマートフォン向け Web ブラウザによりバスの遅延状況や現在位置等のバス運行情報が遅延なく表示されること

(イ) 現在位置を地図上（Google マップ・Yahoo!Map 等）に表示することが可能であること

(ウ) 市民バス利用者にとって視認性の高いデザインであること

(エ) ユニバーサルデザインフォントを使用すること

(オ) 可能な限り文字入力や選択を減らし、初心者でも容易に操作できる高い操作性を有していること

(カ) 停留所名や路線名からバスの運行情報の検索が可能であること

(キ) 追加の費用なくロゴやバスアイコン等のカスタマイズが可能であること

(ク) 全国交通系 IC カード決済対応等の機能表示が可能であること

(ケ) 災害等の緊急事案が発生した場合には、利用者に対して情報を周知することが可能であること

(コ) 日本語に加え英語等の多言語に対応することが可能であること

### (5) バス接近案内表示機

(ア) 近江八幡市役所本庁舎内及び近江八幡市立総合医療センター内に（時刻表情報、路線情報、停留所情報など）を表示することができる、別紙Ⅰに示す仕様のデジタルサイネージ機器（移動式）を設置すること

(イ) 近江八幡市役所本庁舎及び近江八幡駅北口の市民バス乗り場それぞれⅠ箇所に（時刻表情報、路線情報、停留所情報など）を表示することができる、別紙Ⅰに示す仕様のデジタルサイネージ機器を設置すること

### (6) 管理者画面

(ア) 運航実績の参照が可能であること

(イ) 車両の仕業情報を指定可能であること

(ウ) 運行管理者など特定のユーザーしかログインできないようにアカウントやパスワードを設定することとし、アカウントごとに利用可能な機能を設定可能なこと

(エ) 利用者へのお知らせを全体、路線、系統、停留所単位で登録可能であること

(オ) 利用者へのお知らせ登録は、バスロケーションシステム内のみ、GTFS-RT (Alert) のみ、バスロケーションシステム及び GTFS-RT (Alert) の双方、を選択することが可能であること

(カ) 走行実績や遅延情報等の分析や出力が可能であること

## 4-2 バスロケーションシステム運用

- (1) 本システムが安定稼働するよう基盤（サーバー、通信など）を維持管理すること
- (2) 車両位置測定装置が故障などにより突発的に使用不可になった場合でも、早急に復旧できるよう対策を講じること
- (3) 本システムで不具合が検出された場合は早急に修正を行うこと
- (4) サーバーに記録した運航実績情報及びバスロケーションシステム利用状況を集計及び分析した結果を、委託者にて参照できるよう手段を提供すること

#### 4-3 GTFS-JP の作成と更新

- (1) 標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）の作成及び適宜更新を行うこと
- (2) 作成した GTFS-JP データを Google マップに反映させること。その際の Google との連絡調整も行うこと
- (3) 作成済みの GTFS-JP データに変更があった際は、随時更新を行うこと
- (4) GTFS-JP の使用変更追加費用を発生させることなく対応すること

#### 4-4 GTFS-RT の構築

- (1) 動的情報（位置情報、接近情報、遅延情報など）を GTFS-RT で生成すること
- (2) GTFS-RT を Google マップに反映させること
- (3) GTFS-RT はルート最新情報（TripUpdate）、車両位置情報（VehiclePosition）、運行情報（Alert）全てを含めること
- (4) GTFS-RT を Google マップに送信する際に遅延を発生させないこと
- (5) GTFS-RT の全てをオープンデータとして公開可能であること
- (6) GTFS-RT の使用変更追加費用を発生させることなく対応すること

#### 5 留意事項

- (1) システムの管理及び運用体制については、安定性に優れたものとする
- (2) 公共交通の利用促進につなげるため、操作性に優れたものとする
- (3) 利用者の通信速度に配慮すること

#### 6 導入期限

令和 8 年 3 月 31 日までにシステム構築を完了させることとし、できる限り早期に運用が開始できるよう、担当課と協議を行うこととする。

#### 7 サポート体制

- (1) 問い合わせ対応  
電話、メールなどで問い合わせに対応すること
- (2) 障害対応  
障害に関する受付窓口を設ける（連絡方法、受付時間及び対応時間については、委託者と協議を行うこと）

#### 8 その他

本仕様書に定めのない事項については、委託者と受託者が協議のうえ、特記事項として定める